

1. 幼稚園の教育目標

- ・ キリストの教えに根ざした教育（愛と感謝の心）
- ・ 一人ひとりを大切にする（思いやりの心）
- ・ 感性を育て、創造性を豊かにする（夢見る心）

2・本年度目標を達成するための具体的な取り組み、計画等(評価項目)

目標(評価項目)	目標を達成するための取り組み等
①認定こども園としての乳・幼児保育・教育の充実	・<愛><ゆめ><泥んこ>の保育を推進するため県内外の研修に積極的に参加する。
②特別支援教育の充実	・個性豊かな園児への保育を充実するために、専門機関との連携を図ると共に、専門教諭の養成を図る。
③ 子育て支援の充実に努める	・エンジェルクラブ(未就園児)・すくすくひろば(0歳～1歳児)の充実を図る。
④ 安全教育の充実に努める	・全職員が安全マニュアルを再確認する。 ・定期的な避難訓練や交通安全教育を行い、命の大切さを教える。

3、本年度の目標達成および取り組みについて(自己評価)

項目評価	結果	理由
① 認定こども園としての乳・幼児保育・教育の充実	A	① 保育の可視化（見える化）の推進 ・保育ドキュメンテーションを毎週1回発信。保育の内容及びそのレベルを公にすることが出来た。 ・日々の保育活動の様子は動画で発信した。
	B	② 創造力を培う保育の取り組み ・和久洋三の積み木一式を購入し、子ども達のやりたいことを積み木で色々と表現する保育に注力した。 ・リトミック（音楽を通じて感性や身体の発達を促す）や ・絵画・ねんど遊びなどの研修を受講した。
③ 特別支援教育の充実	A	・療育専門「はぐはぐ子ども村」の先生から、一人ひとり具体的な指導を受けて保育に生かした。 ・子育てに不安を感じている保護者に「はぐはぐ子ども村」の利用を勧め、園と専門機関との指導によって、成果を収めることができた。
④ 子育て支援の充実	B	・「すくすくひろば」(0歳児)を年間10回24人の参加。 ・「エンジェルクラブ」(未就園児)11回45人の参加。 在園児の保護者以外の子どもは、入園に繋がらないケースもあった。

保護者会総会資料

⑤ 安全教育の充実	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練(火災・地震・洪水・防犯)を毎月行った。</li> <li>・交通安全協会による、交通ルールの指導を年3回実施。</li> <li>・災害時の子ども引き渡しの訓練を実施した。</li> <li>・南海トラフ大地震に対応するための全職員の検討・協議会を実施した。</li> </ul>
-----------	---	---

4 総合的な評価結果

結 果	理 由
B	<p>「保育の可視化」を推進するために、保育ドキュメンテーションを年間40本発信し、本園の保育の内容とそのレベルを社会に発信した。子ども達の活動の様子は動画でクラスごとに発信。かつ、園長の保育観を「園長先生のつれづれ日記」でブログ発信を行った。このように、誰でも本園の保育内容を見られる点では高く評価できると考えている。</p> <p>一方で、南海トラフ大地震への取り組みが遅れていた。危機管理講習を受けて年度末に全職員での協議・検討会を開催したが、幼児用非常持ち出しセット(2,530円)を始め、非常食、簡易トイレ等必需品の充実・整備は次年度に持ち越す事態となった。</p>

A: 十分達成されている

B: 達成されている

C: 取り組まれているが成果が十分でない

D: 取り組みが不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
① 乳幼児の保育教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の見える化を推進するために、更にレベルアップに努める。</li> <li>・和久洋三の創造力を培う「積み木」の研修は、希望職員の受講を推進する。(積み木の研修4日間、R7年度5人派遣)</li> <li>・リトミックは初(年6回)、中、上級、指導者の研修に派遣。</li> </ul>
②安全教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西都警察署の指導を受けて防犯訓練を実施する。</li> <li>・西都消防署に消防車を派遣してもらい消火訓練を行う。</li> <li>・AEDの講習を西都消防署の指導を受けて全職員受講する。</li> </ul>
② 特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「はぐはぐ子ども村」を始め関係機関の指導を積極的に受けて、個性豊かな園児の保育に力を尽くす。</li> <li>・保護者+園+医療機関との連携を密にして、その子の持つ才能を生かすように努める。</li> </ul>
⑥ 子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援は担当を新たなメンバーで編成し、内容等も充実させる。また子育てに悩む保護者の相談事業も新たに取り組みたい。</li> </ul>

6 学校関係者評価

保育の可視化に積極的に取り組まれており、特に動画を通じて日常の子ども達の姿と目にする機会が増えた。又、保育の質や内容を広く発信されており透明性の高い運営がされていると評価されます。一方で、防災対策、とりわけ南海トラフ地震への備えにおいては、課題が残されており、必要な備品の整備が次年度に持ち越された点は今後の改善が期待されます。